

コイズミ照明器具 保証書

< 保証について >

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯・LED器具・HID器具の安定器、LEDコネクタ、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・高圧などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 取付上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、転送、落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、被害、落雷、その他天災地災、異常電圧、指定外の使用電源(高圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - 保証書及び領収書あるいは販売店が発行の保証書のご提示のない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は申請行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

- 保証期間中に万が一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎていた場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
- 弊社はLED器具の補修性・故障率を製品打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品をきめます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの装飾部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に際してご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)本体: 1年間 安定器・LED電源/モジュール: 3年間

お買上年月日

お名前

ご住所

電話

()

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。

型番 ACN615089・ACN615316

お客様へ

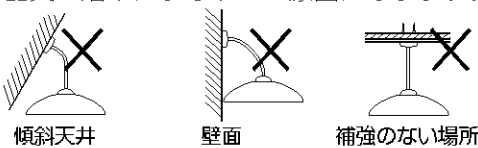
器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

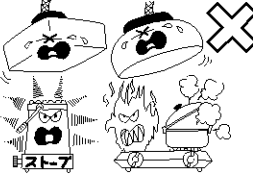
施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 厳守 器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
 禁止 このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。  傾斜天井 壁面 補強のない場所	 禁止 下図のような配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。  ●破損している ヒビ割れ欠けている  ●電源端子露出形 ガラスやガタツキ
 分解禁止 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。
 禁止 埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。	 厳守 電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線など)、速やかに電源を切り、工事店・電器店に修理を依頼してください。 →そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

⚠ 注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
 危害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	 禁止	器具の下にストーブなどの 高温のものを置かない てください。また、燃え やすいものを近づけて使 用しないでください。 →火災の原因になります。 
 水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	 アース工事	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行 なってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
 禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。 ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。	 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

■ 定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
ACN615089・ACN615316	AC100V	50/60Hz 共用	79W	FHC 27+FHC 34 (豆球5W付)

■ 取付前の確認 △ 警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている配線器具が
 確実に固定されているか確認する。

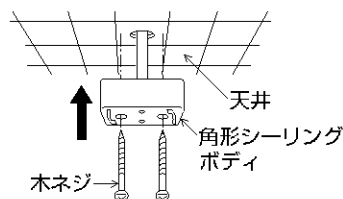
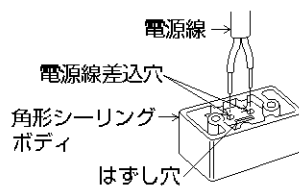
※丸形シーリングボディ・フル引掛シーリング・
 フル引掛ローゼットの場合は、工事店・電器
 店へ配線器具の交換を依頼する。

 角形シーリングボディ
  埋込ローゼット

 丸形シーリングボディ
  フル引掛シーリング
  フル引掛ローゼット

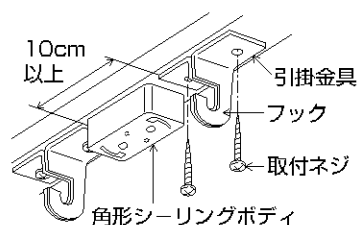
2 配線器具がついていない場合

付属の角形シーリングボディを木ネジで天井に確実に取付ける。



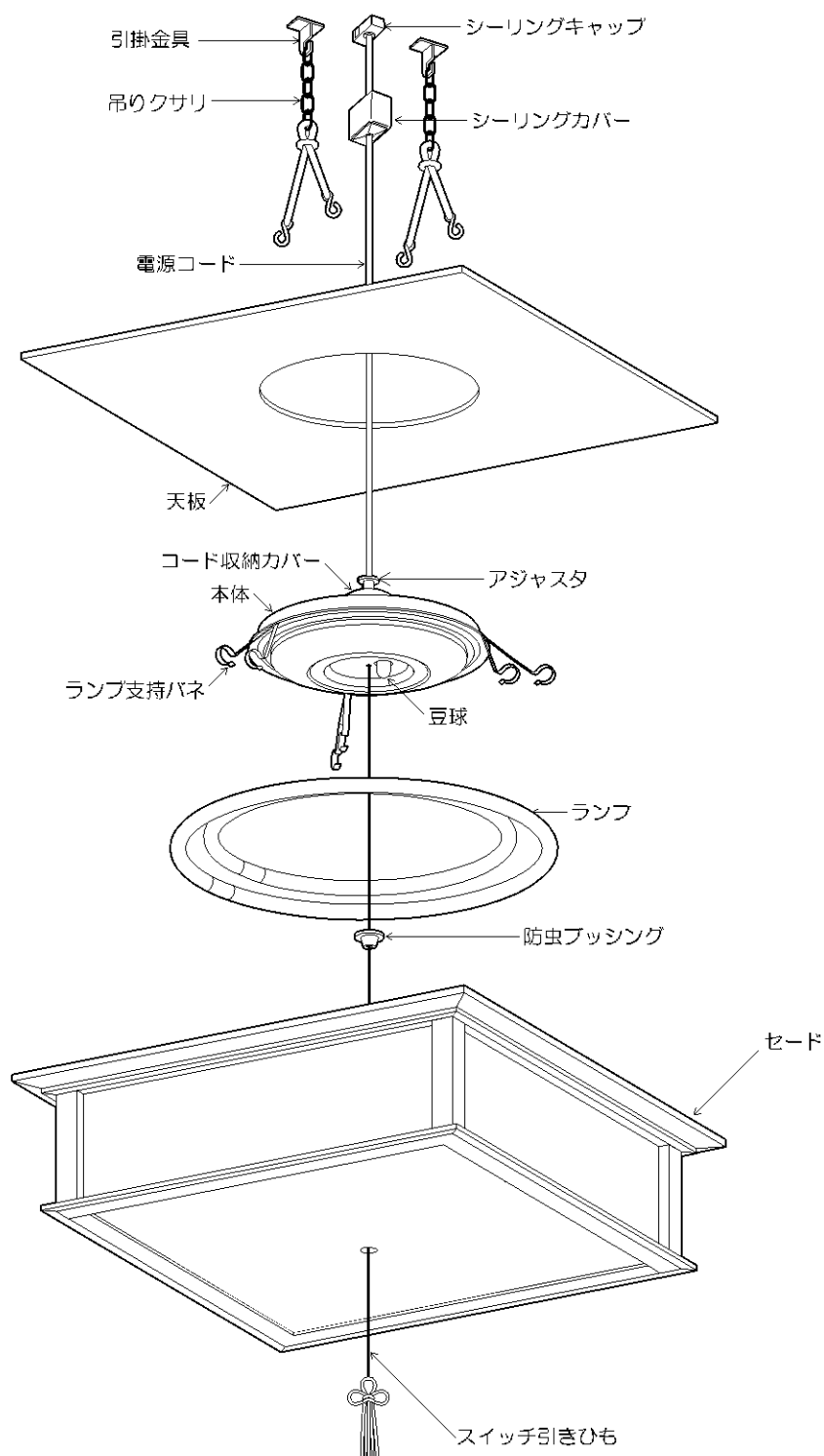
3 引掛金具(2個)を

角形シーリングボディの両隣りに10cm以上
 離し、取付ネジで取付ける。



■取付手順 ⚠注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けしないでください。



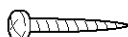
〈付属部品〉



角形
シーリングボディ・・・1個

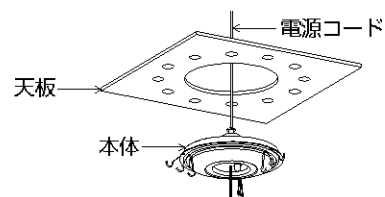


木ネジ・・・・・・・・・・2本

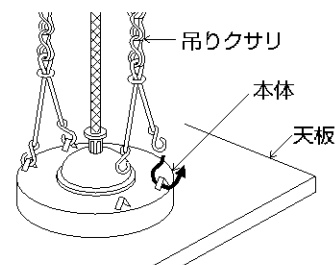


取付ネジ・・・・・・・・・・4本

1 天板を通す

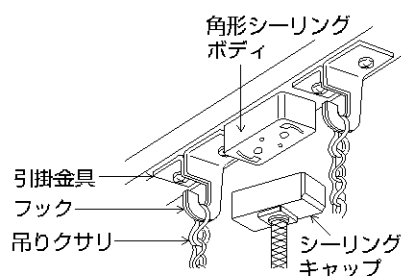


2 吊りクサリを本体に取付ける

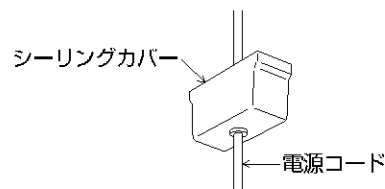


3 吊りクサリを引掛金具のフックに取付ける

4 シーリングキャップを接続する



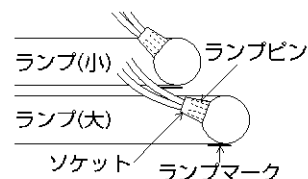
5 シーリングカバーを天井に押し上げる。



6 ランプを取付ける

小さいランプから、ランプマークを下側にしてランプ支持パネに取付け、ランプピンをソケットに確実に差し込む。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

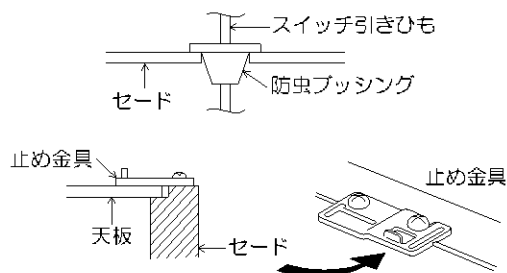


7 セードを取付ける

スイッチ引きひもをセードのスイッチ穴に通し、防虫ブッシングを取付ける。

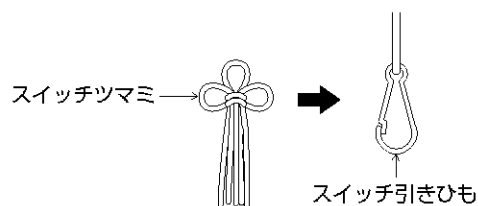
セードを天板に合わせ、8ヶ所すべての止め金具を回して取付ける。

※止めていない箇所がある場合は、枠・セードの落下の原因になります。



8 スイッチツマミを引っ掛ける

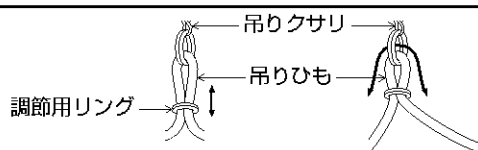
(一部仕様の異なるものがあります。)



9 点灯の確認を行なう

■器具の傾き調整について

- 器具が傾くときには、吊りクサリの調節用リングを上下に動かし調節してください。または、吊りひもの左右の長さを調節してください。



■コード長さ調節について

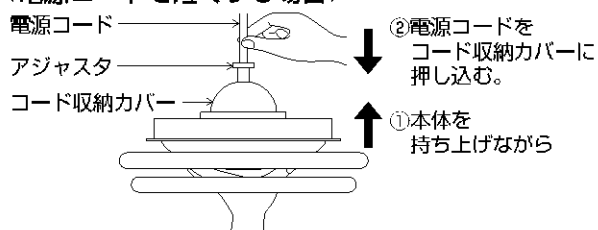
- コードの長さは吊りクサリより短くならないようにしてください。(コードで器具を吊らないでください。)
破損・落下の原因になります。

1 電源を切る

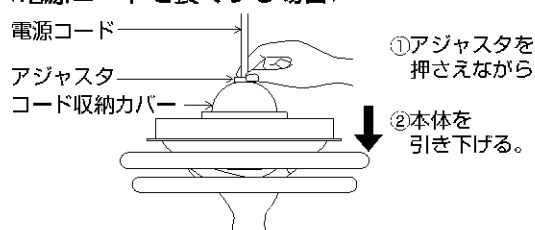
2 電源コードを調整する

※高さ調整をする場合はセードを外してから調整してください。
※調整後、アジャスタを引き上げて固定してください。

<電源コードを短くする場合>



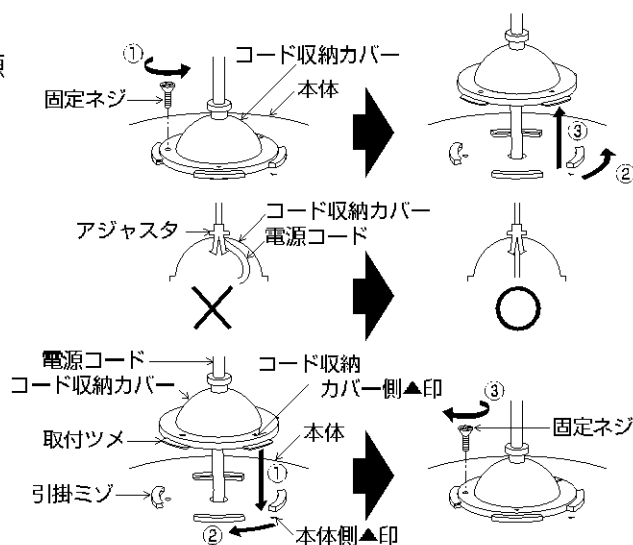
<電源コードを長くする場合>



<コード収納カバーから引き出せない場合>

電源コードの調整ができない場合は、以下の手順で電源コードの引っ掛かりを直してください。

- ① ■取付手順を参考に器具を取外す。
- ② 固定ネジをドライバーなどでゆるめ、コード収納カバーを左に回して本体より取外す。
- ③ 電源コードがアジャスタ中央にくるように直す。
- ④ コード収納カバーの▲印と本体の▲印を合わせてから右に回し、取付ツメを本体の引掛ミゾにはめ込み、固定ネジで固定する。
※取付けの際、電源コードをはさまないでください。
- ⑤ ■取付手順を参考に器具を取付ける。



■点灯順序

- スイッチ引きひもを引っ張ると、明るさが切り替わります。

※壁スイッチのある場合、あらかじめ壁スイッチをONにし、スイッチ引きひもを操作してください。



■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に、器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 多灯用器具は間引き点灯できません。

■故障ではありません

以下のような症状は、ランプが寿命末期になり、器具の保護回路が働いたためで、故障ではありません。

点灯中に突然ランプが・・・

- ・消灯もしくは点滅する
- ・消灯して暗くなったり、豆球が点灯する
- ・調光操作ができなくなったりする

いずれの場合も電源を入れ直すと再び点灯するが、しばらくすると同じ状態になる

電源を切ってランプを交換して電源を入れ直せば正常に点灯します。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

△注意 ランプホルダー(ソケット)やランプ支持バネを強く弾かないでください。ランプの破損・けがの原因になります。

1 電源を切る

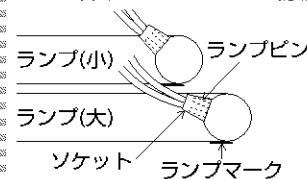
2 セードを取外す

■取付手順 8・7 を参考にセードを取外す。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実にに行なってください。落下によるけがの原因になります。



小さいランプから、ランプマークを下側にしてランプ支持バネに取付け、ランプピンをソケットに確実に差し込む。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

5 セードを取付ける

■取付手順 7・8 を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 蛍光灯の両端が黒ずみだしたら交換時期です。
長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- 木・和紙の部分の汚れはハタキでホコリを払ってから乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
変質の原因になるので水拭きしないでください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
また、洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。